

# ホープを発掘

千葉県表具経師内装組合連合会  
青年部・創友会



私たち創友会は平成16年に千葉県表具経師内装組合連合会の青年部として発足しました。発足当初は十数名、主に二代目の若手が中心メンバーでした。発足して十年を迎える今年までに新たなメンバーも加わり20代から40代と幅広く総勢21名在籍しており「内装」「表具」で飯を食ってる同じ志を持った仲間です。得意分野もさまざまです。だからこそ色々な人がいて面白く、一人一人が経営者であり、営業であり、職人であり。各々、足りない所を吸収しあい成長できる組織です。

主な活動内容は・・・

1. 年に数回、懇親と情報交換のため集まって酒を酌み交わす。
  2. 作品展の共同作品を制作し打ち上げて酒を酌み交わす。
  3. 研修旅行に行き工場見学やものづくりの体験をし酒を酌み交わす。
- ことあるごとに酒ばかり飲んでる飲んだくれ集団と言う訳ではないです。取り分け研修旅行には毎年創意をこらし皆が「感心し」「為になり」「集中し」「楽しめる」を心がけてます。メーカー系工場を訪れば、製品の特性であったり現場の苦労であったりセールスポイントであったり今までにない知識を吸収できましたし、和紙漉きや藍染め、陶芸、江戸切子など行った経験は皆、真剣な眼差しになります。職人の性ですね。
- また、組合活動の技能検定やトライアルの運営サポート、その他行事の手伝いなど組合を支える役目も担って来ました。今後は組合を運営していく中心メンバーになりつつありその自負も持たないといけないと感じています。



## 話題の多いデジタルプリント壁紙の概要を探る

リンテックサインシステム(株)  
代表取締役社長  
小島 一仁氏に聞く

- デジタルプリント壁紙は、3つに分類できる。
- 用途に応じたインクの適正と素材の組み合わせ。
- 業界規格をクリアした安全性。
- デジタルプリント知識+施工技術力が重要。



小島一仁社長

「デジタルプリント壁紙」が業界の話題になっている。世界中のインテリア関係者が最新トレンドを視察するドイツ・フランクフルトで開催されたハイムテキスタイル2014でも、デジタルプリント壁紙が例年以上にポピュラーアップした情報がある。(本紙一面記事参照)また、国内各地でセミナーが開催されている状況を捉え、2000年に日本初のデジタルプリント壁紙「プリンテリア®」を開発して今日まで様々な実績を積み上げてきたリンテック

サインシステム(株)小島一仁社長に取材した。デジタルプリント壁紙は3つに分類できる。

- ①フルオーダー(特注)カスタムオーダーが可能で在庫が不要。
- ②規格品・既存の壁紙では不可能な柄で在庫が不要。
- ③レギュラー品(通常ブランドメーカー品)価格帯の順番では①②になるが、現場、用途によって多少差がある。

デジタルプリント壁紙は、欧米ではHP/米国内(国内は日本HP)が最もPRに力を入れており、先のハイムテキスタイルでも大きなスペースに様々な壁紙のバリエーションを展示。同社の特徴である環境に配慮したラテックスインクをベ



スにプリンタとインクの販売チャンネルを新しいマーケットに提案するうえでインテリア市場を重要なターゲットに位置付けているが、富士フイルム、EPSON、ミマキやRoland DG、SII、大日本スクリーンといった日本のメーカーも同様に壁紙市場を重要なマーケットと認識している。

用途に応じたインクの適正と素材の組み合わせ。

h p社が注目を集めるのは機種・インクのみならず壁紙を作成するソフトウェアに注力している点である。今後は各社が用途や貼り付け壁紙の状況に応じたソフトウェアを取り揃えてより身近な加工品としてデジタルプリント壁紙を展開することになると推察する。

さらにプリンタメーカーと協力して基材メーカー・ブランドメーカーは防火認定やF☆☆☆☆といったコンプライアンスにしっかりと対応した壁紙基材の開発を求められることになる。かつて、業界に「壁紙」がブーム

なつたことがあるが、すなわち「デジタルプリント壁紙」こそ、「壁画」や「芸術品」(プリンテリア®は名画壁紙をライセンスで製造販売している)的な要素もあり一般的な壁紙にも展開が可能と言える。

防火認定やF☆☆☆☆をクリアするうえで、重要なポイントの一つはインクである。デジタルプリント壁紙用のプリンタ

Digital Printer	インク耐久性	定着性
① 水性	○	X~△
② 水性ラテックス	○~◎	○~◎
③ 低溶剤	◎	△~○
④ UV	○~◎	○~◎

◎優れている ○良い △多少弱い X悪い

「プリンテリア®」はそれぞれの規格をクリアしたデジタルプリント壁紙である。防火壁紙材証明書、防火施工管理ラベルを発行する。

業界規格をクリアした安全性。

新築及びリフォームの中で、防火、防炎性能やシックハウス対策(F☆☆☆☆)他、内装材に求められる安全性の有無は重要である。

デジタルプリント壁紙のインクは現時点では凡そ4つに分類される。(上表参照)壁紙の素材は織物、紙、ビニル、プラスチック等多様である。デジタルプリントとの組み合わせで、デザインや現場の用途によってよりグレードや質感の高表現が可能な事と在庫リスクが少ない事は大きなメリットになる。

デジタルプリントの知識+施工技術力が重要。

欧米では、デジタルプリント壁紙が増加傾向にあり、今後日本でも充分に需要拡大の可能性が芽生えつつある。デジタルプリントの基礎知識を学び、現場対応がスムーズにできる施工技術の重要性を捉える事が求められる。技術集団を自負する「全表連」の会員メンバーには、是非ともトライアルする価値のある分野になると思えます。かつての「壁画」が衰退した要因の一つには、在庫のリスクがあり、デザインのオリジナリティが薄れ、付加価値のメリットが失われた事が指摘された。

デジタルプリント壁紙は、時代のニーズに対応したカスタムオーダーが魅力の商材である。「表装・表具の技術が活かされるデジタルプリント壁紙こそ会員メンバーの技術が発揮できる商材として、今後の販売に結びつけるチャンスと前向きに考えていただきたい。」と、リンテックサインシステム(株)小島一仁社長が最後に語っておられた。

この取材に関しては、全表連佐藤会長も同席され「全表連」として取組みを今後の課題として検討する事になった。

## 豆知識

### デジタル印刷とは

フリー百科事典「ウィキペディアより引用」

デジタルイメージを直接様々なものに印刷する技法。通常、DIPなどで作成したデジタルソースからレーザープリンターやインクジェットプリンターを使って大判の印刷や大量の部数の印刷をするプロフェッショナルな印刷を指す。オフセット印刷などの従来の技法に比べてコストが高いが、印刷版をつくるまでの従来の手間が省けるといった利点がある。また、オンデマンド印刷が可能、完成までが速い、内容修正が容易といった利点もある。人件費が抑えられ、高機能化してきたことから、デジタル印刷は従来の印刷技法に取って変わることも可能とところに到達しつつある。

## 全国表具経師内装組合連合会

- 静岡県表具内装協会
- 三重県表具内装組合連合会
- 滋賀県表具内装組合連合会
- 奈良県表具内装組合
- 京都表具協同組合
- 大阪府表具内装協同組合
- 兵庫県表具内装組合連合会
- 広島県内装表具組合連合会
- 山口県表具内装組合連合会
- 島根県表具内装組合連合会
- 鳥取県表具師組合連合会
- 香川県表具内装工業協同組合
- 徳島県襖表具組合
- 高知県表具組合
- 大分県表具内装組合連合会
- 福岡県表具内装組合連合会
- 佐賀県表具襖内装組合
- 長崎県表具内装連合会
- 宮崎県表具経師内装組合連合会
- 熊本県表具襖内装組合連合会
- 鹿児島県表具内装組合連合会